

「こうべハーベスト」について

1 KOBE ハーベストプロジェクトについて

農産物の生育に必要なリンですが、日本はほぼ全量輸入に頼っています。全国の下
水処理場から出る汚泥には、約 5.1 万トンのリン成分が含まれています。これは、国
内の農業に使われるリン成分の約 2 割に当たります。

平成 23 年度からそのリン資源を回収する技術の研究に水 ing 株式会社と取り組み、
リン回収の手法を確立しました。現在は、水 ing エンジニアリング (株) が下水処理
場で回収したリン (こうべ再生リン) を神戸市から購入し、園芸用肥料や水稲用肥料
を製造しています。そして、JA 兵庫六甲の協力により市内の農家へ販売しています。

2 こうべ再生リンについて

東灘処理場のリン回収設備により回収されたリン酸マグネシウムアンモニウムを
「こうべ再生リン」と名付けました。「こうべ再生リン」は肥料の原料になるととも
に、「こうべ再生リン」単体でも肥料として利用することができます。



写真 1 : 東灘処理場 リン回収設備



写真 2 : こうべ再生リン

3. こうべ再生リンを使用した肥料について

(1)園芸用肥料

「こうべハーベスト 10-6-6-2」は、こうべ再生リンを 20%使用し、神戸のブラン
ド野菜「こうべ旬菜」等に使用されている園芸用肥料です。

平成 27 年 12 月から JA 兵庫六甲で販売されています。

(2)水稲用肥料

こうべハーベスト水稲一発型は、こうべ再生リンを 15%使用した水稲用肥料です。
平成 28 年から試験栽培を開始し、改良を重ね、学校給食用のお米「きぬむすめ」の
栽培に使用されるようになりました。令和 2 年 1 月から、神戸市内の学校給食に、こ
うべハーベスト水稲一発型で栽培されたお米が提供されています。



写真 3 : こうべハーベスト 10-6-6-2



写真 4 : こうべハーベスト水稲一発型